



牟佐坐神社拝殿 檀原市で



牟佐坐神社 (檀原市)



牟佐坐神社は高取川の西、近鉄岡寺駅北西の

小高い丘に鎮座しています。平安時代の神社一覧である「延喜式神名帳」では式内大社として掲載されている古社です。この地は第8代孝元天皇の軽境原宮跡であると伝わり、石段を上り、境内に身を置くと、清涼

(住所) 檀原市見瀬町718
(祭神) 高皇産霊神、孝元天皇
(文化財) 市指定「百人一首絵馬」
(交通) 近鉄吉野線岡寺駅西すぐ

(拝観) 境内自由
(駐車場) 無
(電話) 0744・54・2071
(飛鳥坐神社)

な空気に包まれます。ていて、これが当社の始

「日本書紀」雄略天皇

のくだりには、天皇が信頼をおく側近として身狭村主青の名がみえます。

室町時代の古文書では、当社は身狭村主青が

悪い夢を見てそれを抜いて、幸福や健康、繁栄を願う生霊神を身狭村の

田んぼに祭り、その子孫が神主になったと記され

る時期がありました。また当社には、すべての

明治になり高天原の神で

ある高皇産霊神と孝元天皇を祭神としました。

この絵馬は「歴史に憩う檀原市博物館」に寄託

が奉納されています。

高皇産霊神は物を産みなす生威力を象徴する神

で、天地開闢(天地が公開)。

(奈良まほろばソムリエの会理事 柏尾信尚)

繁栄願う生霊神がルーツ